

## 平成21年度第1回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成21年6月26日(金) 10:00～12:10  
場 所 事務局第一会議室  
出席者 上井学長、丸山理事、加藤理事、川橋理事、堀理事  
大橋委員、古賀委員、佐々木委員、土肥委員、中井委員、福田委員  
欠席者 橋本委員  
陪席者 尾崎監事、栗田監事、渋谷副学長、町田学長特別補佐、高木教養学部長、山口教育学部長、伊藤経済学部長、水谷理工学研究科長、井上理学部長、山口工学部長

### 前回議事要録の確認

平成20年度第4回国立大学法人埼玉大学経営協議会(平成21年3月23日開催)議事要録(案)」の確認が行われ、了承された。

### 報告事項

- 1 役員報酬規則等の持ち回り審議の結果について  
丸山理事から、各委員には事前に審議願い了承を得ている件である旨の説明があった後、平成21年6月期に支給する期末・勤勉手当等の支給基準の引き下げ、及び経過措置として講じている地域手当の支給割合の見直しに伴い、本規則等を改正した旨の報告があった。
- 2 補正予算について  
丸山理事から、平成20年度及び平成21年度補正予算の本学に関する整備事項について説明があった。
- 3 会計監査人の選任について  
丸山理事から、本学の会計監査人として文部科学大臣からあずさ監査法人が選任された旨の報告があった。
- 4 平成21年度大学教育改革支援経費等の申請・採択状況について  
丸山理事から、6月11日現在の申請・採択状況について報告があった。
- 5 総合研究機構環境科学研究センターの設置について  
川橋理事から、4月1日に総合研究機構の下に設置された環境科学研究センターの概要について報告があった。
- 6 平成21年度科学研究費補助金の採択状況について  
川橋理事から、本学における科学研究費補助金の採択状況について報告があっ

た。

- 7 平成20年度外部資金の獲得状況について  
川橋理事から、本学における外部資金の獲得状況について報告があった。
- 8 埼玉大学教育研究活動データベース新システムの構築について  
川橋理事から、SUCRAを拡充・発展させた教育研究活動データベース新システム構築の概要について報告があった。
- 9 埼玉大学外国人留学生数について  
堀理事から、5月1日現在の本学の外国人留学生数等について報告があった。
- 10 創立60周年記念事業について  
渋谷副学長から、創立60周年記念事業プログラムについて報告があった。
- 11 平成20事業年度における監事監査結果について  
学長から、監事監査の結果報告があり、要望事項等について改善を図るとともに、なお一層の適正な業務運営を推進していきたい旨の報告があった。

#### 審議事項

- 1 平成20年度決算について  
丸山理事から、平成20年度決算の概要について説明があり、審議の結果、了承された。

主な意見は次のとおり

人件費率が非常に高くみえるが、他大学の水準と比べていかがか。

人件費は、教育経費がどの程度使えるかということとバランスしており、目標をもって近づける努力がとても大切。

外部資金の増加傾向について、教員にどのようにインセンティブを与えているのか。

上記外部委員からの意見に対して、理事から、計画をもって人件費削減に努めていること、学内経費で支援してインセンティブを与えていることなどが説明された。

- 2 平成22年度概算要求について  
丸山理事から、特別経費及び施設整備費の各要求事項等について説明があり、審議の結果、了承された。

### 3 第二期中期目標・中期計画大学素案について

加藤理事から、第二期中期目標・中期計画の大学素案及び一部修正箇所についての説明があり、審議の結果、了承された。

(修正箇所)

107頁(研究の質の向上システムに関する目標)中

「研究の質の向上を図るため、学内における競争的研究環境を醸成する。」を

「独創的研究を促し、相互啓発の環境を醸成することにより、研究の質の向上を目指す。」とする。

主な意見は次のとおり

文章が抽象的で、具体的なイメージがわからない。

教育研究の在り方は、10年後の理想の姿を見据えて考える必要があり、それを踏まえて、年度計画、機能別分化、国際化などに、どう資源配分をするかなどを考える必要がある。

他の大学ではできないような先導的なこととか、先端的なこととか、試行的なこととかに積極的に取り組めることが、国費を使ってやる大学の使命。また、地域において、大学がどういう役割を担うのか、地域にいかに関与していくのか。そういうことをはっきりさせていくことが、国立大学の存在意義を主張する上で必要ではないか。

「研究成果を積極的に社会に発信」することは、非常に価値がある。ホームページや広報誌だけではなく、マスコミを大いに利用し、もっと効果的な情報発信を考えていただきたい。

組織を取り巻く環境がどう変化していくのか、10年後大学がどうなるのか、大学はどんな課題を抱えて、どのように克服するのかということが重要。

将来、国立大学はあるのだろうかとか、本当に学生が来るのだろうかという発想を是非お持ちいただきたい。

埼玉県にあるのだから、徹底的に埼玉に密着するとか、アクションプランでは、埼玉大学独自のもの、埼玉大学にしかできないことを是非お願いしたい。

国費を使う機関であるからには、埼玉大学がどうすれば掛け替えのない存在になれるのかといつも考えていないといけない。地域によって感謝される存在であるということは何よりも大切。

上記外部委員からの意見に対して、理事から、年度計画において具体的方策を明確にしていくこと、本学の将来の方向性についても検討していくことなどが説明された。

### 4 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

町田学長特別補佐から、平成20年度の全体的な状況及び特記事項等について説

明があり、審議の結果、了承された。

5 大学機関別認証評価自己評価書について

町田学長特別補佐から、今年度、大学評価・学位授与機構が行う大学機関別認証評価を受けるために提出が必要な自己評価書について説明があり、審議の結果、了承された。

その他

1 議事要録の公開について

丸山理事から、経営協議会の議事要録について、情報公開の趣旨から、今後は公開としたい旨の説明があり、確認された。

2 次回日程（10月15日（木））

学長から、開催時間については、改めて各委員の都合を調整したい旨の連絡があった。

以上